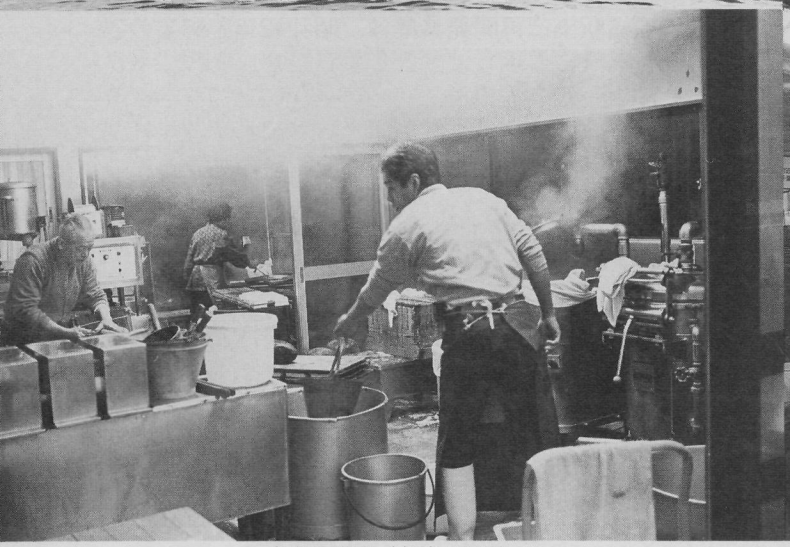
Photo ふなばし

東の空が白み始めるころ、ノリの収穫が行われる

スズキの水揚げ


矢作豆腐店（海神１丁目）

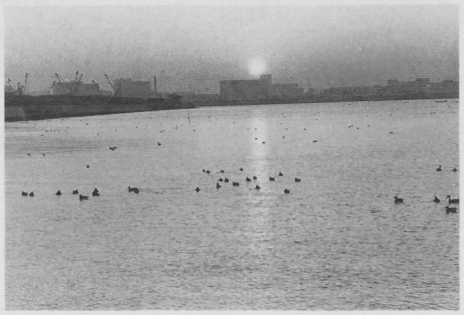
混雑のピークを迎えたJR船橋駅

MOVE
JR船橋駅南口再開発事業
実現に向けて大きな一歩

とくしゅう PART1
自然を生かした、素朴で夢のある
アンデルセン公園が今秋オープン

とくしゅう PART2
ふなばし朝の風景

●市政トピックス
●街角ホットニュース
●サークル通信
●WE ARE IN FUNABASHI
まちなかの文化財／ふなばしの民話
ズームアップ／ペットインタビュー


ふなばし海浜公園から望む朝日

vol. 72
広報ふなばし写真版

JR船橋駅南口再開発事業

MOVE

実現に向けて大きな一歩

ＪＲ船橋駅南口再開発事業は、京成船橋駅との間の約3.5ヘクタールを５つの地区に分けて整備するもので、第一地区は、駅正面の約0.9ヘクタールです

長年の懸案となっていたＪＲ船橋駅南口第一地区の再開発事業で、再開発ビルの建築計画案について69人の権利者全員から基本的合意が得られ、大きな一歩を踏み出しました。

ＪＲ船橋駅南口再開発事業は、昭和42年と53年の過去２回、事業に着手しようとしましたが、実現には至りませんでした。その後、昭和57年に南口約3.5ヘクタールを５地区に分ける整備構想を打ち出し、63年に第一地区の都市計画を決定。以後、権利者の皆さんと協議を重ねてきました。

この第一地区は、駅正面の約0.9ヘクタール。ここに建設される地上14階、地下３階建てのビルは、ショッピングモール型の専門店街となる商業ゾーン、公共公益施設ゾーン、オフィスゾーンなどから構成される複合施設で、平成11年度完成を目指しています。

これにより、駅前広場も広がり、連続立体交差事業が進められている京成本線の京成船橋駅とＪＲ船橋駅がペデストリアンデッキ（歩行者専用道路）で連絡されるなど、ＪＲ船橋駅南口が、首都圏の中核都市・船橋市の表玄関にふさわしく生まれ変わります。

記者会見で、第一地区の権利者全員から基本的な合意が得られたことを発表する大橋和夫市長

再開発ビルが建設される第一地区。54万都市の表玄関にふさわしいまちづくりが進められます

とくしゅう
PART1

自然を生かした、素朴で夢のある アンデルセン公園が今秋オープン

急ピッチで工事が進む「こども美術館」のパフォーマンスゾーン。地上2階、地下2階建てで、自然観察ゾーンやギャラリー、創作スタジオなどが設置されます

「こども美術館」のイメージスケッチ

デンマークのヒュンビレッジ野外博物館の建物をイメージしたコミュニティーセンター

市制50周年を記念して昭和62年にオープンした「ワンパク王国」は、豊かな自然の中で、子供たちが伸び伸びと遊び、大人も童心に返って楽しめる施設として、多くの皆さんに親しまれています。

現在は、「福祉と緑の都市宣言」の記念事業の一つとして、ワンパク王国を約26ヘクタールの大規模な公園に拡大する「アンデルセン公園」の建設を進めています。

船橋市は、世界的童話作家アンデルセンが生まれた、デンマーク王国オーデンセ市と平成元年4月に姉妹都市となり、文化・スポーツ・福祉など、市民ぐるみの充実した交流を続けています。

アンデルセン公園は、ワンパク王国に加え、アンデルセン童話の精神を生かした「メルヘンの丘」と、子供たちの創造力を育てる全国的にも大変ユニークな「こども美術館」を新設する、素朴で夢がいっぱいの公園です。

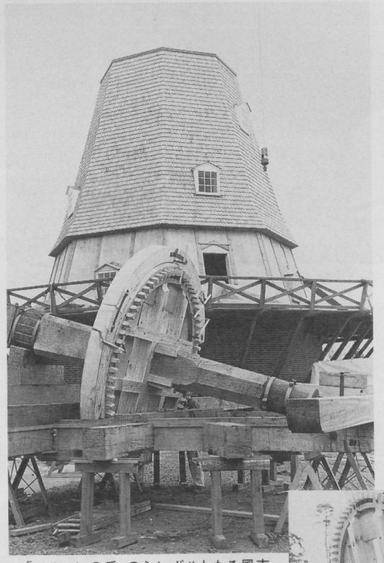
急ピッチで工事が進むアンデルセン公園。今年10月のオープンが待ち遠しいですね。

平成6年10月、オーデンセ市のアンカー・ボイエ市長を招いてアンデルセン公園の起工式が行われました

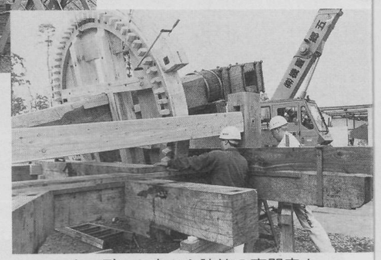
ワンパク王国と「メルヘンの丘」を結ぶ太陽の橋

橋の欄干には、人魚姫などアンデルセン童話の主人公が描かれています

「メルヘンの丘」のイメージスケッチ

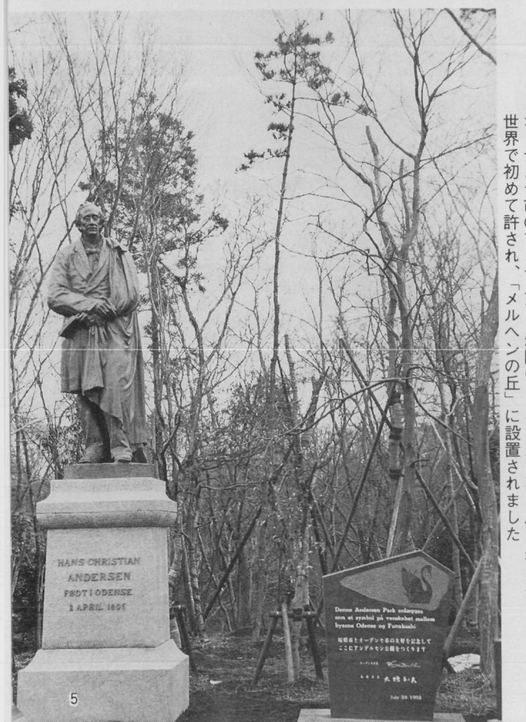


「メルヘンの丘」のシンボルとなる風車



オーデンセ市から建築の専門家を招いて工事が進められています

「メルヘンの丘」に19世紀のデンマークの農家が再現されています。2月16日、その上棟式が行われました



オーデンセ市のアンデルセン公園にあるアンデルセン像の複製化が、世界で初めて許され、「メルヘンの丘」に設置されました

とくしゅう PART2

ふなばし朝の風景

人もまちもまだ深い眠りに落ちている午前3時。3月とは言え、頬に当たる風が痛い。口からもれる息も、暗い闇の中で白く光っては、消えて行く。道を往来する車や人でにぎわう昼間の喧噪が、まるで嘘のような世界が広がっている。

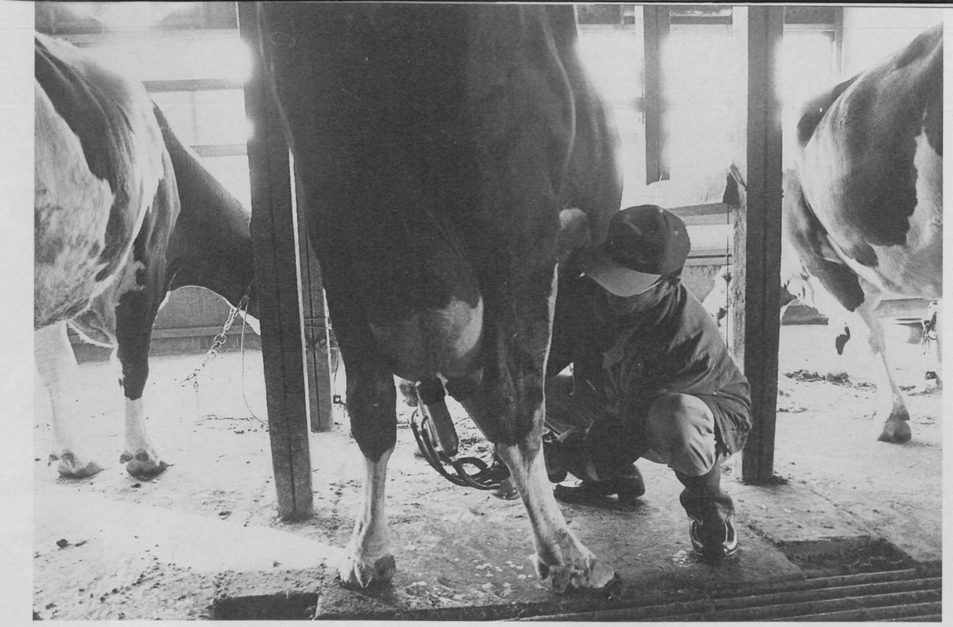
そんな中、明かりに照らし出された新聞配達店は、折り込み作業の真っ最中だった。

やがて、豆腐屋、パン屋などが動き始める。大豆や小麦粉の香りが辺りに立ち込める。

東の空が白みはじめた。もうすぐ夜明けだ。漁に向かう人たちで港が活気づく。海を吹き抜ける風に思わず、たき火で暖をとる。

鳥のさえずりが朝の訪れを告げ、人もまちも眠りからさめる。都心へ向かう通勤客などで、バス停やターミナル駅はラッシュを迎える。まちが最もエネルギッシュな姿を見せる。

ふなばしの朝。人々の様々な営みがあり、表情豊かな風景が繰り広げられる。



1頭の牛から1日平均25キログラムの牛乳がとれる（佐久間牧場）

東京湾で行われている巻き網漁。この日は約5トンのスズキが水揚げされた

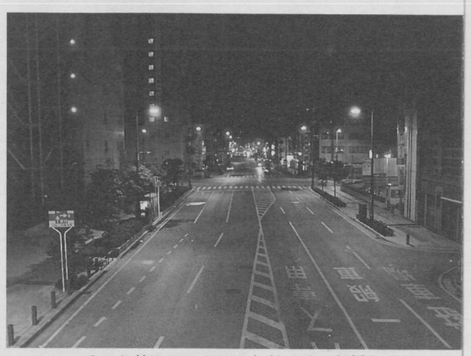
のどかな牧場の朝

北本町にある船橋乗馬クラブ。朝は市立船橋高校の生徒が馬の世話をしている

日曜日の朝6時。御滝公園で、重陽気功（ちょうようきこう）のサークルが活動していた

京成船橋駅からの乗り換え客で混雑する船橋駅南口

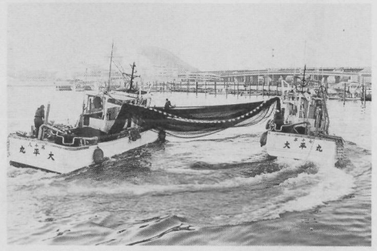
1日の乗降客数32万人と県内最高を誇るJR船橋駅のラッシュ風景



ひっそりと静まりかえった午前4時の船橋駅北口

海苔摘船（のりつんせん）で収穫したノリは、運搬船に積み替えて港に運ばれる

初春でも、早朝はまだ凍えるような寒さ。漁に備え、たき火で暖をとる



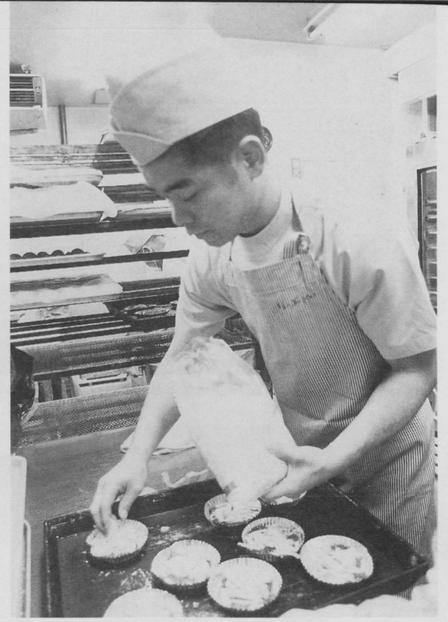
早朝、船橋漁港を出航し、漁場に向かう

中央卸売市場では、魚の競りの元気な声が飛び交う

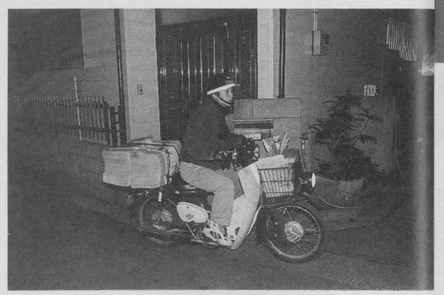
朝の京成船橋駅では、行商の姿も見られる

開店準備に忙しいパン屋
（メリーゴーランド　小室町）

慣れた手つきで、すばやくチラシを折り込んでいく（読売新聞東船橋店）



1日に約1,000個のパンを焼いている



多くの人が寝ている間に新聞が配達されていく

まちなかの文化財

稲荷神社
（豊富町）

風の強い日で、近頃街なかでは珍しいと思うが、茶色の土煙りがあちこちから猛烈に湧き起こっては中空に吹き上げていた。取材にはあまり良い日じゃなかったね、S君――でも、車の中は暖かい。

豊富小を目標にやって来てその東隣に、目当てのお稲荷さんが在る筈。道路に面し、子持ち鳥居が見え、「正一位稲荷大明神」の立派な額が掛かっていて、すぐ分かった。

杉並木が大分深そうで、何かいわくありげである。おまいりの前に、鳥居左脇に立つ三つの石碑に目が停まる。右が道祖神（文政9）、中央が庚申塔（嘉永3）、左が「金」の字を「全」と彫った青面金剛（明治11）。写真二、三枚撮ってもらい、まずは杉並木の参道へ。その長さ数十メートル。

あれ、突き当たりには何もない！　枯野の原！　一瞬キツネにつままれたよう――右に巨木があってその奥に目をやると、在る！　一対の石のキツネの先に稲荷社。さらに二、三の小社が並び、薄暗い不気味な霊域である。

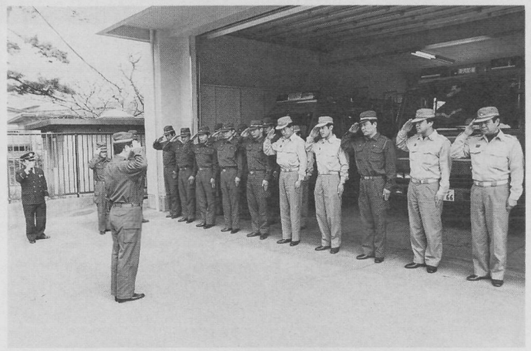
たまらず日溜まりへ出る。憑きものが一時に落ちて地上に目をやれば、杉の落ち葉、枯れ小枝の間、野は大イヌフグリの薄紫の小花が地上の星のように一面に散らばっている。春である。

（文・大木　勲）

子持ちの鳥居の奥に、
杉並木が続いています

一対のキツネに見守られた稲荷社

湯気の立ち込める中、一丁一丁手作りされている豆腐（矢作豆腐店）



三山分署の朝。車両点検や業務の引き継ぎをして
当直隊員が交替する

▲葛飾小学校の登校風景

保育園の朝は、子供たち
の元気な声で始まる

朝練に励む古和釜中学校バ
スケットボール部の皆さん▶

朝の通勤・通学風景（船橋グリーンハイツ）

1台の自転車を、複数の人が利用する
「ふなばしレンタサイクル法典」

市政トピックス

いざという時のために
災害時の医療体制を整備

2月23日、災害時に医療救護所となる市立小学校全55校を会場に、医療救護非常参集訓練が行われました。これは大地震などが発生したときの初動体制を強化して、被災市民に迅速な医療救護活動ができるようにと、全国で初めて実施したものです。

また同時に、地域外で大規模な災害が発生した場合の支援医療・救護活動体制を整備するため、中央消防署を会場に災害支援医療隊派遣訓練も実施されました。

各小学校で医師、看護婦、市職員などが協力して、救護所となる教室を点検しました

救護所からの報告状況を見守る本部員

医療器具や医薬品などを積み込む災害支援医療隊

即時診断が可能な
DR検診車を導入

2月6日に行われた納車式。左から山崎芳久医療公社理事長、大橋和夫市長、高木恒雄市医師会長

2月6日、コンピューターを利用したデジタルラジオグラフィ装置（DR）を搭載した、新しい検診車が(財)船橋市医療公社に導入されました。この検診車は、撮影現場で透視画像を見ることができ、即時診断が可能なため、災害対策車としても活用できるという特長も持っています。

デジタル処理によって、その場で透視画像を見ることができます

熱烈歓迎！
中国・西安市長が来船

▲西安市長一行を湊町小学校の子供たちや市職員など300人が市役所前で歓迎

◀歓迎会で、子供と一緒に両市長がばか面おどりを披露

友好都市の中国・西安市から、馮煦初西安市長を団長とする友好代表団6人が船橋市を訪れ、2月7日、大橋和夫市長を表敬訪問しました。馮市長は昨年3月の就任後、初の来船。

翌8日、一行は、市内各所を視察した後、市民の皆さんや関係者約250人が参加した国際交流協会主催の歓迎会に出席しました。両市長がおそろいの法被を着てばか面おどりを披露するなど、和やかな雰囲気のなかで交流を深めました。

市民ひとことインタビュー

テーマ　一年生になって楽しみなことは？

野球とサッカーと勉強が楽しみです。
内山大介ぐん
伊原　茜ちゃん（弥生
板橋良平ぐん　保育園）

笛を吹いたり野球をしてみたいです。
三和史明ぐん（二宮
柴　夏希ちゃん　保育園）

サッカーや勉強でがんばりたいです。
上村　勇ぐん
千葉未来ちゃん（小室
富樫　隆ぐん　保育園）

本を読んだり、編み物をしたりラジコンをしたいです。
森　菜月ちゃん 奥村直樹ぐん
田村麻衣ちゃん（旭保育園）

勉強が楽しみです。
斎藤浩平ぐん　井岡尚之ぐん
長谷部翔一ぐん　西山千絵ちゃん
佐藤祐佳里ちゃん　加藤綾乃ちゃん
（英進幼稚園）

市、医師会、歯科医師会、薬剤師会が共同で
第9回 ヘルシー船橋フェアを開催

イベントコーナーで、様々な講演や実演が行われました

2月15日から20日まで、東武百貨店船橋店で、ヘルシー船橋フェアが開催されました。「つくる健康まもる健康～元気が一番！だから健康診断～」と題し、市の様々な健診事業を紹介。専門家による医療相談やヘルシーチェックコーナーなども設けられ、健康情報が盛り沢山の催しとなりました。

初日に行われた、実行委員会関係者によるテープカット

響け！ふなばしのハーモニー
第6回 音楽優秀校記念演奏会

交響曲第八番「未完成」第一楽章を演奏した御滝中学校管弦楽部の皆さん

3月17日、市民文化ホールで音楽優秀校記念演奏会が行われました。TBSこども音楽コンクール全国大会で優勝した御滝中学校をはじめ、全国学校合奏コンクール千葉県大会で金賞に輝いた行田東小学校など、小・中学校6校が出演。皆さんおなじみの童謡からポップス、クラシックまで幅広く披露しました。そのすばらしい演奏や合唱に、音楽ファンはもちろん、会場を訪れた皆さんから大きな拍手が送られました。

パートナーシップでつくるエコシティ ふなばし
エコシティ市民フォーラム'96

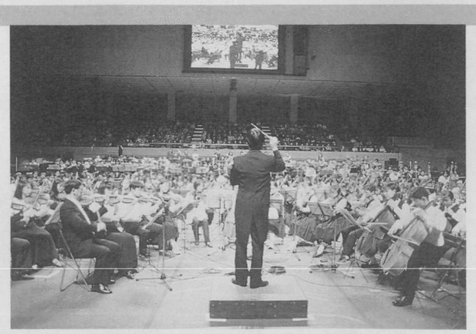
自然保護をテーマにした展示コーナー

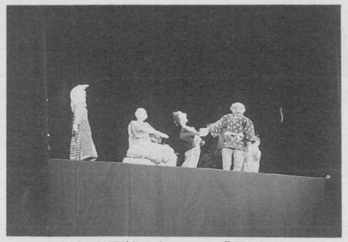
2月17日、環境づくりを考える市民グループなどの企画・運営で、「エコシティ市民フォーラム'96」が開催されました。中央公民館で開かれたこの催しは、市民・企業・行政が協力して、エコシティ（環境共生モデル都市）づくりを進めるためのもの。会場では、講演やパネルディスカッション、展示コーナーなどの催しが行われました。

八栄小学校の児童たちが、「ヤゴ救出作戦」の模様を発表

ライフ・ラーニング'96
第10回 生涯学習フェア

中島常幸さんが、ゴルフを始めたころのエピソードや夢などを熱く語ってくれました


船橋最大の音楽イベント「千人の音楽祭」


二和公民館で行われた「民話と人形劇フェスティバル」

「まなびへの旅立ち」をテーマに開催された第10回生涯学習フェア。2月18日は、船橋アリーナで「千人の音楽祭」が行われ、総勢1,600人が迫力ある演奏と美しいハーモニーを披露しました。また、24日にはプロゴルファーの中島常幸さんを講師に迎えて、「私を育てたゴルフ」と題した記念講演会も開催。このほか、「民話と人形劇フェスティバル」や「市民円卓会議」、「防災フェアふなばし」など、4日間にわたる様々な催しに多くの皆さんが参加しました。

街 まちかど 角 ホットニュース

皆さんからの情報お待ちしています。
◎広報課☎36-2015

日本古来の文化
大茶会といけばな展

連日にわたって、たくさんの皆さんがお茶を味わいました

2月7日から12日まで、西武百貨店船橋店で、市茶道連盟主催の初春大茶会が行われました。昭和53年の連盟発足以来、異なる流派が一堂に会して続けられているこの大茶会。期間中、2,400人の皆さんがお茶を味わいました。

また、2月28日から3月4日まで、市華道連盟主催の船橋いけばな展が行われました。会場には25流派から約120席の作品が展示され、伝統美の競演に、訪れた皆さんはひと足早い春を感じているようでした。

松、竹、梅などの縁起ものや、花に工夫を凝らした作品が並んだ船橋いけばな展

全国のトップアーチャーが集結
第5回 全日本室内アーチェリー大会

18メートル先の的に向け、精神を集中します

第5回全日本室内アーチェリー選手権大会が3月9日と10日に、船橋アリーナで開催されました。'95年ナショナル・チームのメンバーや、各大会で優秀な成績を収めた全国のトップアーチャー総勢124人が、オリンピック部門、コンパウンド部門に別れて、日ごろ鍛えた技を披露。会場には、張りつめた空気の中、矢を射る音だけが響いていました。

夢はJリーガー
幼児ミニサッカー大会

チビッ子たちは、真剣な表情でボールを追いかけていました

3月3日、運動公園自由広場で第2回船橋幼児ミニサッカー大会が開催されました。今年は冷たい北風が吹くなかでの試合でしたが、参加した20チームのチビッ子たちは大人顔負けの好プレーを連発。応援席からも、声をからしての声援が盛んにとんでいました。

決勝戦は、両者ゆずらずPK戦へ

ふなばしの民話
二和川を造った小島弥平次の一駒

文・村上昭三

二和川の源流。小字「角堀」の現況（現・二和東2丁目の一部）

むかし、二和の小字「角堀」の一角に、清水の湧く湿地がありました。

この水は、神保溜の方へ流れ、この区間は普段は水量の少ない小川でした。しかし、大雨が降ると、決まって流域の畑に溢れ、何日も漆まで潜る泥濘となり、作物が駄目になりました。

これには、村人たちは全く困りました。そしてその度に、二和の大地主である星野清左衛門家の番頭でこの土地を管理をしている荻原勤平の所に出向き

「また、作物は収穫皆無になってしめえました。どうか、ちゃんとした堀を掘って下さえ」

と、頭を下げて頼みました。

この頼みに、荻原の旦那様は資金がないと言って、いつも拒んでいました。

そうこうしている中に、番頭が代わり、その後任として小島弥平次という人が来ました。この人は、頭の回転がよく、決断の早い人でした。赴任早々に、大雨の度ごとに難儀していることを聞き、村の主だった人たちを会社に呼び

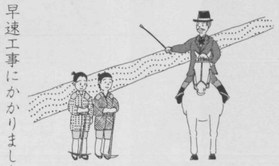
「角堀から鎌ヶ谷境まで、堀を早急に掘ってやるぞ」

とはっきり言いました。

これを聞いた村人たちは、目を輝かせ

「これは有り難え。俺たちも手伝いますで、どうかお願えしますだ」

と口々に言いました。



早速工事にかかりました。小島の旦那様は工事中、パリッとした洋服を身につけ、白馬に乗り、自ら指揮をしました。これには、働いている人々の意気が上り

「小島の旦那様は格好ええのー。張り切っているじゃねえか。俺たちも頑張らねば申し訳ねえだ」

と言いながら、精を出しました。そのため、工事は予定よりずーっと早く出来上り、その後大雨の被害はぐーんと減りました。

今も、二和の東西を横断する形で流れる二和川は、このように小島の旦那様が親身になって採り上げ、自ら白馬に乗って直接指揮をしたお陰で出来上ったものだということです。

郷土芸能
不動院で大仏追善供養

盛られたご飯を食べると、無病息災になると伝えられています

2月28日、本町3丁目の不動院で大仏追善供養が行われました。これは、漁場争いが絶えなかったころ、命懸けで船橋の漁場を守った二人の漁師を供養するために、文政8年(1825年)から毎年行われています。大仏にご飯を盛るように塗り付ける、全国的にも珍しい行事です。

ばか面おどりも披露されました

3年間の成果を発表
第8回 卒業制作展「ソツテン」

期間中、625人の皆さんが訪れました

金工作品の制作風景

東京学館総合技術高等学校工芸科(豊富町)の第8回卒業制作展「ソツテン」が、2月21日から25日まで市民ギャラリーで開催されました。この卒業制作展は、会場の手配からPR活動まですべてが生徒自身の手で行われました。半年以上も前から準備してきたという作品は、木工20点、金工109点、陶芸125点など全434点。どの作品も若さと個性あふれる力作ぞろいでした。

町会・自治会

防災倉庫を備えた
町会会館がオープン

地下に本格的な防災倉庫を備えています

前原西八丁目町会の町会会館が完成し、2月18日、落成式典が行われました。当日は、来賓や近隣町会の皆さんが出席して完成を祝いました。この会館は、震災対策として、市内で初めて、地下に本格的な防災倉庫を備えています。

"物と心と家庭と地域"をテーマに
第5回 青少年シンポジウム

2人の中学生を迎えて行われたシンポジウム

110人の皆さんが来場しました

第5回青少年シンポジウムが3月9日、薬円台公民館で開催されました。今回は、子供たちの意見を積極的に取り入れようと、パネラーに2人の中学生を迎えたこのシンポジウム。学校だけでなく、地域での教育や環境づくりについて、様々な立場から意見を交換し合いました。

ズームアップ
第二の鈴木大地選手を目指して
'95日本水連最優秀選手
稲田法子さん
（市立船橋高校）

前半のスピードを付けることが課題です

日本水泳連盟の'95年度最優秀選手に選ばれた稲田法子さんは、現在、市立船橋高校に在学中で、4月からは3年生。昨年の国際大会で、背泳100mと200mに日本記録を連発し、その実績が高く評価された。

水泳を始めたのは、2歳のころ。ぜん息気味で体が弱かったので、お母さんがスイミングクラブに通わせた。コーチの勧めで背泳にチャレンジすると、めきめきと頭角を現し、10歳のときにはジュニアオリンピックに優勝。中学2年生のときは、国際大会の100mで日本新、200mで優勝し、岩崎恭子選手らとともに中2トリオの一人としてバルセロナ五輪出場を果たした。「バルセロナでは自己ベストの記録を出しましたが、それよりも、岩崎選手の金メダルに大変感動しました」

しかし、その後に大きなスランプが訪れた。練習しても記録が伸びない。ライバル選手に日本記録を塗り替えられる。このとき初めて水泳をやめたいと思ったという。

「新しい目標への気持ちの切り替えができなかったんですね。でも、今まで一緒に練習してきた友達が心の支えになってくれました」

ソウル五輪金メダリストの鈴木大地選手に憧れ、市船に進学。同じスイミングクラブのコーチの指導を受けた。毎日1時間の筋力トレーニングと2時間で6000mの泳ぎ込み。そして、その成果が昨年大きく開花した。

8月、アトランタでのパンパシフィック選手権で、100mは日本新の金メダル、200mも日本新で銀メダルを獲得。1月、北京での短水路ワールドカップでも50m日本新、200m優勝を飾った。

普段はおっとりした雰囲気だが、試合ではものすごい集中力を発揮する。「記録を意識して泳ぐより、自然体で泳いだときにいい結果がでますね」という稲田さん。近年、目覚ましいレベルアップを見せる女子水泳界にあって、最も注目されている選手の一人である。

昨年のインターハイで

みんなの広場 サークル通信

ふなばし富士太鼓

夏には、市内のお祭り15か所以上に参加します

太鼓は腰が大切

法被（はっぴ）姿が勇ましい

①昭和59年
②小室中学校
③毎週金曜日（夜）
④35人
⑤和太鼓を通しての青少年健全育成
⑥農水産祭、私があげる花火大会、市内の夏祭り
⑦岩瀬日出夫☎47－9116

高芝カラオケ同好会

山田先生の指導が好評です

毎日のレッスンがとても楽しみです

①発足年月日
②活動場所
③活動日
④会員数
⑤モットー
⑥主な活動内容
⑦連絡先（代表者）

レッスンは活気にあふれています

①平成2年6月13日
②新高根公民館
③第2・4水（13～15時）
④90人
⑤楽しく、和を大切に
⑥定例会、課外研修旅行結成記念発表会、忘・新年会
⑦田村新策☎66－1793

船橋混声合唱団

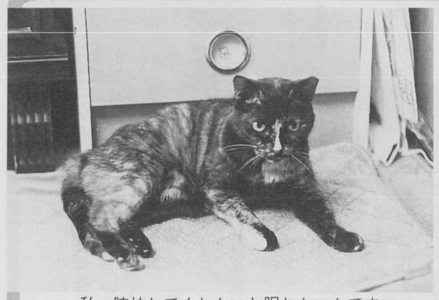
村上先生の指導にも熱が入ります

男性会員も募集しています

和気あいあいとした雰囲気です

①昭和21年ころ
②中央公民館
③毎週土曜日（午後6時30分～9時）
④30人
⑤楽しく歌おう
⑥県・市合唱祭参加、自主公演、定期演奏会
⑦横田玲子☎73－6202

ペットインタビュー



私、腕枕してくれないと眠れないんです

なまえ
ミーちゃん（メス）

オーナー
増田光子さん（金杉）

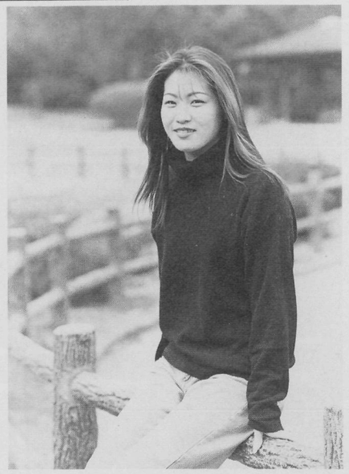
私ミーちゃん。もうこちらにお世話になって、17～8年になるかな。お外で私泣いていたらしいの。みんなとても優しいから、放っておけなかったのね。当時は、まだ畑や空き地が多く、よくネズミやトカゲを捕まえては、ご主人を困らせたっけ。今でこそ、お店（美容院）には出ないけど、以前は、よくお店の窓際に座っては、お外を眺めていたわ。私が動くと、歩いている人が驚いたわね。ぬいぐるみと勘違いしてたみたい。私の好物は、キャットフードに、ナマリ、そしてシラスかしら。テーブルに食べ物があっても絶対に手を出さないわ。結構お行儀いいでしょ。私は、人間で言えば、100歳すぎのおばあちゃん。いつまでも長生きするのが、みんなへの恩返しになると思うんです。

WE ARE IN FUNABASHI

まい・ふぁっしょん

シンプルなファッションが好きですね

佐藤　安岐子（あきこ）さん（本中山）



黒いタートルネックのセーターにストレートのジーンズ、黒いハーフブーツを履いた佐藤さんが、シャギーの入ったストレートのロングヘアーを風になびかせながら登場しました。

アクセサリーは、ゴールドのブレスレットとネックレスに、かわいらしいリングが両手に一つずつ。「オニキスとアクアマリンです。オニキスは、家族でハワイに行ったときに、母が姉妹4人に買ってくれたんです」

好きな色はブラックとブルーで、買い物は、ららぽーとや上野のアメ横。普段は、スノーボーダーファッションにスニーカー姿も多いとか。

「メルヘンチックなファッションは苦手なんです。シンプルなものが好きですね」

趣味はポップス系の音楽を聴くこと。「そろそろ運転免許を取って、海にドライブに行ってみたいですね」

トリマーの専門学校を卒業して、ペットショップに勤めましたが、肌が弱くてドクターストップ。今は家業のおせんべい屋さんを手伝っているそうです。「本中山商店街は、人情味があってとてもいいところですよ。将来は、自分のお店を出せたらいいですね」と、明るく笑顔で話してくれました。

あい・らぶ・ふなばし

よく御滝公園に出かけますね

フランクリン・エーレ・ジェスロボさん（三咲）

「公園が好きなので、よく御滝公園に出かけますね」。フランクリンさんは、ナイジェリアのご出身で、2年半前に来日。船橋に住んで1年4か月ほどになります。

「父の仕事の影響で、子供のころは医師になりたかったんですが、私の国でも医者になるのは難かしくて…。大学では、ビジネスを専攻しました」と苦笑。学生時代は、ナイジェリアで一番人気のあるサッカーをはじめ、バスケットやバレーボール、短距離など何でもこなすスポーツ万能選手だったとか。

「日本に来たころは、日本食が苦手だったんですが、今では納豆以外は何でもOKです」とフランクリンさん。趣味は音楽鑑賞と読書。ブルースを聴いたり、小説を読むのが好きだそうです。

「できれば年内に、日本人のガールフレンドと結婚して家庭を持ちたいですね。子供が好きなので、4人ぐらいほしいです」とニッコリ。夢は、日本語に磨きをかけて、日本とナイジェリア、そしてヨーロッパを舞台にビジネスを展開することです。

ご主人

競技自動車製造・販売
「アンテロープ」
本郷町515－1
☎0473(35)0801

「若い人たちに、安全な場所で思いっ切り走ってもらいたい」と香取さん

◀ハードなラリーにも耐えられるように整備します

17歳の時、石原裕次郎主演の『栄光への5000キロ』という映画を見て、ラリーの魅力にとりつかれたという香取恒治さん。大学時代はサファリラリーへの出場を夢見て、自動車部に在籍していました。卒業後、メカニックとして9年間自動車会社に勤めていたものの、思うようにラリーの競技会に参加できず退社。10年前に競技自動車製造のお店「アンテロープ」を開きました。

国内ラリーは、単に速く走るのではなく、コマ図と呼ばれる地図をたよりに、設定された時間通りに走り切るタイムラリー制。「コースやスピード、車の状態など、ラリーのことだけに集中していられるのが魅力の一つです」と語るご主人は、1995年全日本ラリー選手権の1000CC以下クラスで、年間4位に輝きました。また、若いドライバーの育成にも力を入れており、10年以上にわたってダートトライアルレースなどを主催。来年は、ラリーの大会を初めて主催する予定で、準備を進めているそうです。

自分のクラブの若い人が、アンテロープで造った車に乗って、全日本選手権など国内最高峰の大会で活躍して欲しいと夢を語ってくれました。

あとがき

Photoふなばしでは、特集記事をはじめ、市のイベントや街角で行われた催し物、話題の人物、公民館などで活動しているサークルなどを取材して、沢山の皆さんに登場いただいています。

ペットインタビューもその一つです。毎回オーナーのお宅を訪ねて、ペットにまつわるエピソードなどを伺っています。

今までご紹介したのは、ワンちゃんや猫をはじめ、しゃべるオウムやあらいぐま、ミルクを飲む熱帯魚など、さまざまです。

しかしながら、共通しているのは、オーナーのペットに対する思いやり、愛情です。「もう家族と同じだよ」、「いつまでも長生きしてほしいですね」と、皆さん異口同音におっしゃいます。これからも沢山のペットとの出会いを楽しみにしています。（賢）

船橋ゆかりの日本画家
加倉井和夫の世界

訪れた皆さんは、加倉井芸術の世界を味わっていました

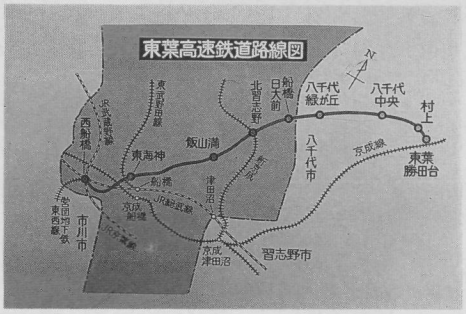
3月1日から10日まで、市民ギャラリーで、船橋ゆかりの芸術家展「加倉井和夫の世界」が開かれました。会場には、白を基調に日本の自然美を描いた作品20点を展示。加倉井和夫は、日展の特選をはじめ、日本芸術院賞などを受賞した日本を代表する日本画家です。

4月27日

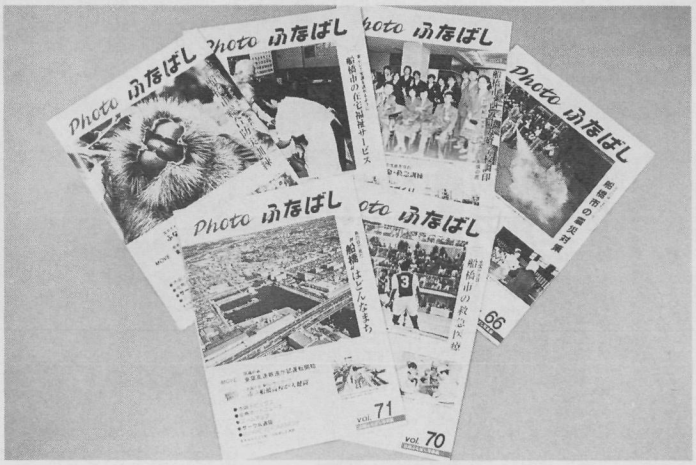
都心へ直結 東葉高速鉄道が開通

営団地下鉄東西線との相互直通運転により都心へ一直線。船橋日大前駅と大手町駅が36分で結ばれます

東葉高速鉄道の開通にともなって、沿線ではすでに新しいまちづくりも始まっています



"Photo ふなばし"が新聞折り込みになりました。



奇数月の第4月曜日に発行。JR船橋駅、西船橋駅、津田沼駅(修理中)の広報スタンドでも配布します

「Photo(フォト)ふなばし」が、今号から新聞折り込みになりました。

本誌は、"広報ふなばし写真版"として昭和59年に創刊。以来、隔月で年6回発行し、各町会・自治会を通して、皆さんのご家庭に配布していました。

次号からは、5月、7月、9月、11月、1月、3月の第4月曜日に、下記日刊紙の朝刊に折り込まれ、皆さんのお手元に配布されます。

また、下記以外の新聞を購読、あるいは新聞をとっていない人には、郵送も行っていますので、広報課までご連絡ください。

町会・自治会関係者の皆さんには長い間ご協力ありがとうございました。 ☎36−2015

朝日新聞	毎日新聞	読売新聞	産経新聞
東京新聞	千葉日報	日本経済新聞	

PHOTOふなばし　第72号　発行　船橋市広報課　平成8年3月編集　印刷　㈱総合印刷新報社